

# 令和元年度 半田市障がい者自立支援協議会 子ども部会 ターゲット別研修③「指導者向け研修」 現代版リーダーシップ ～今のチームリーダーに必要なこと～

発行元：半田市 令和2年2月

今年度最後となるターゲット別研修は、障がい児通所支援事業所内で指導をする立場となる現場指導者や児童発達支援管理責任者の方を対象として、事業所の人材育成に対する意識を改めて考えていただき、職員のモチベーションの向上や、職場の定着につなげてもらうことを目的に研修を実施しました。

研修の最後には、グループワークを行い、参加者の皆さんに、人材育成に対する「今日からできること」を発表していただきました。

日時：令和元年12月17日(火) 10時～12時

場所：半田市役所4階 大会議室

対象：障がい児通所支援事業所の管理者、  
児童発達支援管理責任者、現場指導者

講師：特定非営利活動法人まんまる 理事長

藤田 理格 氏



## 脳のタイプや価値観の違い

人の脳には利き脳があり、考え方や行動へのあらわれ方で4つのタイプに分類できます。研修の中では、腕組みと指組みによる利き脳のタイプ分けを体験していただきました。

また、年代による価値観の違いも確認し、まずは、自分の利き脳や価値観を知ったうえで、相手の利き脳や価値観に合わせて、どうコミュニケーションをとるか考えることが大切だと伝えていただきました。

【利き脳】 左脳(論理的)、右脳(イメージ)

- ・左脳インプット・右脳アウトプット… やったことがないことでも、自分のやりたいことへ勇猛果敢に挑戦します。
- ・右脳インプット・右脳アウトプット… 自分の志から一貫した思いを持って行動し、義を重んじます。
- ・左脳インプット・左脳アウトプット… 達成までの道筋を計画してから実行する、言行一致の性格です。
- ・右脳インプット・左脳アウトプット… 礼儀をもって関係を築き、一体感のある人間関係に喜びを感じます。

【価値観】

価値観とは、その人の過去の体験から生まれてきます。年代によって価値観の傾向は異なり、70代以上は食べ物、40～60代はお金など物質的価値観である一方、20～30代は自己の存在に価値を感じる精神的価値になります。

## 5つの承認力

承認力とは職場の環境を良くするためのスキルです。5つの承認を踏まえ、より多くのレベルで相手を認め、ことばで伝えることにより、相手との関わり合いが深くなり、一人ひとりが輝く職場を作ることが出来ます。

より良い成果につながる職場の人間関係は、結果承認以外の承認の幅を意識し、普段から相手を認める意識を持つことが重要です。

1. 結果承認 …(例)結果が出たときに認める。
2. プロセス承認…(例)結果が出たときのプロセスを認める。
3. 行動承認 …(例)行動したことを認める。
4. 意識承認 …(例)行動しようとした意識を認める。
5. 存在承認 …(例)相手の存在を認める。

## ～参加者アンケート～

- ・相手を知る、認めることの大切さを感じました。
- ・価値観が違う相手を認めるための土台を、自分から作っていく働きかけをしていかなければならないと感じました。

問い合わせ先

発達支援相談あゆみ(都筑)  
TEL 0569-21-6077  
半田市役所子育て支援課(梁川)  
TEL 0569-84-0657